

榎本 先程から話に出てくる「地域づくり」についてですが、民生委員が行う「相談・支援活動」と「地域づくり」は、ある程度分けて考えるべきだと思います。何でもキャッチボールというわけにはいきません。民生委員の活動を支えているのは、相談者からの相談内容を周囲に漏らさないという信頼感があってこそです。

地区社協と民生委員は、(個人情報に対する)受け取り方がだいぶ違うように思います。地域づくりについては、関係する人は、日頃から「こういう場合はこうしよう」という連携をとっていくのはいいんですが、お互いの立場を踏まえた中での地域づくりが必要となってくるように思います。

その中で、民生委員は、特別職の地方公務員である民生委員だからこそできる役割について

検討し、実践していく必要があると思います。

大野 地区社協の方たちには、民生委員に対して一番大きな理解者と協力団体であってほしいと思います。民生委員としては、きちんとした連携先を把握し、どうしたら解決できるかということを見極めて活動していかなければいけないなと考えています。

今、地域にはいろいろな課題がありますが、とにかく関係機関と話し合う場を持つことが連携の第一歩だと思いますし、「活動しやすい環境づくり」につながるのだと思います。

泉 この座談会の内容を読まれた皆さんも、民生委員の役割や地域について、地区社協等の関係機関と、共に歩む仲間として前向きに話しあう機会を持たれるといいですね。

番外編

社協との未来予想図を描いてみよう！

座談会で出されたご意見と、(皆さんの)これまでの活動や地区社協との関わり方を踏まえて、あらためて今後どのような活動を行っていくか、皆さんで話し合ってみましょう。

- 1 座談会では、民生委員の役割について、「(支援を必要とする)住民の情報を把握する」とことと、その「情報をつなぐこと」が挙げられています。そして、地区社協には「見守りのある地域づくり」を担ってほしいとのご意見がありました。皆さんの地区では、民生委員(民児協)と地区社協は、今後どのような役割分担をしていくべきか、話し合ってみましょう。

- 2 座談会では、「社協活動に参加することも良いが、まず担当地域の実態把握など、民生委員活動やその役割について覚える必要がある」とのご意見がありました。また一方で、「社協活動に参加することで民生委員の役割を果たすことができる」とのご意見もありました。皆さんの地区民児協では、どのように考えますか？ 皆さんで話し合ってみましょう。